


平成29年度「魅力あふれる学校づくり推進事業」



各学校における事業評価



<北学区>




学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
15 村山産業	<p>[地域の教育資源を活かした魅力ある学校づくり]</p> <p>1 農・工・商が連携した実践活動</p> <p>(1) 村産ブランド商品の開発 酒米の研究（地元酒造企業との連携） ・酒名の募集及び選考「花ひかり」 ・村産そだち純米吟醸酒「花ひかり」の完成</p> <p>(2) 太陽光発電によるシステム開発 鳥獣駆逐システムの研究製作</p> <p>2 教育内容の魅力発信</p> <p>(1) 公開講座（10テーマ、村山市と連携）</p> <p>(2) オープンスクール（中学生対象）</p> <p>(3) 学習成果発表会（地域対象） ・インターネット活用による新モンゴル学園 高校生徒とのライブ交流</p>	<p>○農・工・商の各分野の実践力が育成され、自らの知識・技能をさらに深めようとする意欲が高まった。</p> <p>○学んでいることが社会に役立つことを実感させることができた。</p> <p>○地域の方々に本校教育内容の特色と魅力を伝えることができた。</p> <div data-bbox="1256 595 1608 858" style="text-align: center;"> <p>オープンスクール</p>  </div>	<p>○実践的で特色ある取組みが際立っている。斬新な企画も素晴らしく日頃の学習内容がよく理解できた。</p> <p>○学校のホームページを活用した情報発信が充実しており、生徒たちの活躍ぶりが良く伝わってくる。</p> <p>△地域課題解決に向けた取組みをますます充実させ、地域の活性化につなげて欲しい。</p>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
17 北村山	<p>【「千年桜計画」ルネッサンス】</p> <p>1 東日本大震災復興支援ボランティアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の復興支援の意義と現状の理解や実際のボランティアなど、東日本大震災の復興に係る学びを展開しながら環境教育、公共性教育の充実を図った。 <p>2 「尾花沢まつり」山車及び花笠パレードへの参加、清掃の取組み及び、「徳良湖 WINTER JAM」の企画と運営へ参画</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の伝統行事「尾花沢まつり」と昨年度から始まった新しい町おこし行事「徳良湖 WINTER JAM」に積極的に参加することにより、郷土への誇りと愛着を持たせ、地域への貢献を実感させた。 <p>3 地元企業の経営者と生徒によるディスカッションと交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元企業の経営者を招聘し、意見交換などの交流を行うことにより、地元企業が求める人材の育成を図った。 	<p>(1)「復興支援ボランティア」について</p> <p>○現地のニーズに合致した支援ができたこともあり、生徒の取組みは極めて真摯で、かつボランティアへ興味・関心が高まり、公共性の涵養につながった。</p> <p>△徐々に人手が求められる作業がなくなってきており、どのような活動がふさわしいのかを、生徒に対する教育効果と合わせて検討する必要がある。</p> <p>(2)「尾花沢まつり」について</p> <p>○花笠踊りパレードと会場清掃に分け、全校生徒・教職員で参加し、地域の活気づくりに大いに貢献できた。地域を活性化するにはどのようなことができるか考える良い機会ともなった。</p> <p>(3)「地元企業経営者と語る会」について</p> <p>○キャリア学習としての効果とともに地域理解学習の効果も高い。身近に優れた技術や実績を持つ企業があることを知ることによって、地元の良さを見つめ直すことができた。</p> <p>△卒業生の地元定着を促進するためには、地元産業との連携の効果を、保護者にも広げる取組みが必要である。</p>	<p>○人間性を養う上で、大きな役割を果たしている事業である。</p> <p>○地域に根ざした諸活動とボランティア活動は、地域での認知度も高く、大いに評価してよい。</p> <div data-bbox="1677 472 2031 738" data-label="Image"> </div>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
18 新庄北 定時制	<p>〔郷土を知り、様々な体験を通じて、郷土を愛する心をはぐくむ活動〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地曳き網体験（鶴岡市鼠ヶ関港） 2 県境のある集落見学（山形・新潟県境） 3 海水からの塩づくり見学（新潟県村上市ミネラル工房） 4 「地域活性化を目指す活動について」の講話（NPO 担当者） 5 関川しな織体験（鶴岡市関川） 6 生徒の感想発表会 7 事後の作文 	<p>○初めての体験を通じて、鶴岡市旧温海町への理解が深まり、山形の魅力を再認識できた。生徒は、次年度の訪問先への期待が高まりつつある。学校評価アンケートの関係項目からは生徒 16 人の回答数に対して 10 人が最高の評価をしていた。</p> <p>○連携した地域活性化を目指すNPOの活動等に対する知見を得て、生徒は大変共感していた。</p> <p>△初年度のため、教師主導の企画になったため、生徒の主体的な活動は少なかった。</p> <p>○この事業の課題として取り組んだ写真が、県定通生徒作品展で入選した。</p> 	<p>○体験し、学ぶことは大切だと思います。今後は関係団体との連携の中で、何かを創造させる体験ができれば、さらに郷土愛につながるように思います。</p> <p>○体験を重視する指導は定時制高校としてこれからも実施してもらいたい。</p> <p>○学校評価アンケートの関係項目からは、保護者 13 人の回答数に対して 8 人が最高の評価をしていた。また、教員 8 人の回答数に対して 6 人が最高の評価をしていた。</p>
新庄北 最上校	<p>〔「最上校ボランティア再構築プロジェクト」～今求められているボランティアとは何か～〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クリーン作戦 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小中とともに全町あげでの町内清掃 (2) 町内 4 区域に分かれての清掃活動 2 最上祭りボランティア（神輿・茶屋店） 3 文化祭における出店交流 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大船渡ボランティア交流地区の代表による、ホタテ焼き・カキ焼きの販売 (2) 交流事業継続に対する想い発表 4 大船渡交流 <ol style="list-style-type: none"> (1) 三陸駅前の被災範囲にチューリップ植栽 (2) “芋煮” 振る舞い（持込） (3) 被災地復興の様子見聞 5 除雪ボランティア（独居老人宅） 	<p>○被災地訪問を通し、復興の進捗状況と地域を支える方々の郷土に対する熱意を知ることができたし、被災地の方々の率直な想いを聞いたことで、今までと違うボランティアの考え方が生まれつつある。</p> <p>○地域の方々とのボランティア交流を通し、最上校の存在意義を再考でき、より積極的な活動へと変化し始めた。</p> <p>△被災地訪問は移動時間が長く、現地での交流時間の確保に限界がある。</p> 	<p>○「最上校は従来からボランティアが盛んであり、生徒たちはよく頑張っている」というのが町民としてのイメージである。</p> <p>○「つくし会」（最上町高校生ボランティアサークル）を始めとし、高校生のボランティア活動は、県全体でも高く評価されている。</p> 

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
19 新庄南	<p>[新庄南高校 地域貢献プロジェクト]</p> <p>1 地域との絆を深めるための継続性のある文化祭を開催する。</p> <p>2 他地域における団体との連携による地域活性化事業を行う。</p> <p>3 地元団体主催による地域活性化活動へ参加する。</p> <p>4 本校主催の地域における継続性のあるボランティア活動を企画する。</p>  <p>被災地における地域活性化活動</p>	<p>○地域との絆を深めることを一つのテーマに、地域に開かれた、生徒による文化祭の企画及び運営を行うことにより、地域に関心を持ち、地域に貢献しようとする意欲が向上した。</p> <p>△他地域の高校生と連携しながら地域活性化活動を行うことにより、地元の良さを再認識し、郷土愛の精神が高まったが、活動及びその指導に関わる予算措置等に課題が残る。</p> <p>○地元団体と共に地域活性化活動に積極的に企画及び参加することができた。</p> <p>○本校を地域に開くために、本校主催ボランティア活動を実施することができた。</p>	<p>○本校文化祭来場者は 1000 人を越え、地域の方々から「魅力ある学校」と評価していただいている。</p> <p>△生徒会活動、ボランティア活動に積極性がみられるが、その活動結果の広報に工夫が必要である</p> <p>○文化祭などで、キャンパス制を結ぶ新庄南本校生と金山校生が交流し合い、良い関係が築けている。</p>
新庄南 金山校	<p>[地域に学び、地域に貢献し、地域とともに生きる元気な学校づくり]</p> <p>1 金山タイム(地域連携学習)及び金山タイムフェスティバル</p> <p>2 認定こども園における中高合同雪像作りボランティア</p> <p>3 独居老人宅における除雪ボランティア</p> <p>4 地域行事における出張ボランティア (1)とこみどりマラソン (2)特別養護老人ホーム「みすぎ荘」夏祭り (3)朴山地区もったいないフリーマーケットなど多数</p>	<p>○金山タイムでは地域の方々より様々な伝統文化や国際文化、地域に根ざした産業を教えていただき、国際社会に対する意識と郷土愛を深めることが出来た。</p> <p>○ボランティアを通し、地域の人々や子供達との触れ合いにより、地域貢献社会貢献の大切さを学んだ。</p> <p>○独居老人宅の除雪ボランティアを通し、地域の現状を理解し、地域の一員である事を強く認識した。</p>  <p>金山タイム そば打ち体験</p>	<p>○学校の事業と地域の連携は評価できる。</p> <p>○ボランティアで活躍している姿を見かける。今後とも長く継続してもらいたい。</p> <p>△ボランティアの参加者に偏りがあるのではないかな。</p>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
20 新庄神室産業	<p>[農工の専門知識を学んだ成果を地域理解貢献に活かす取組みの推進]</p> <p>1 公開講座 新庄最上地区小学校 ものづくり体験教室 (1) 機械電気科・・・機械電気系製作 (2) 農業科、農学生産・工業技術部・・・食品製造・電気系実験・ガラス加工</p> <p>2 出前授業 新庄最上地区中学校 (1) 機械電気科・・・機械電気系加工製作 (2) 環境デザイン科・・・グラウンドトラック測量</p> <p>3 沿道植栽事業(マイロードサポート)の参加と校地周辺環境整備 (1) 学校近郊の沿道に季節の花を植栽。 (2) 校地周辺の環境を整備。</p> <p>4 地域理解貢献事業 (1) ものづくり博・もがみ大産業まつりへの出展 (2) 100円商店街(新庄市南商店街) (3) 新庄市内で農作物訪問販売の実習 (4) 地域農産物フェアへの参加 (5) 農林大学校「農大祭」への参加 (6) 地域伝承文化の継承行事参加 (7) 最上地域の食材を使った食品の製造開発 (8) 地域工業団地協議会と協働：地域理解と進路対策</p>	<p>○様々な場面で生徒が地域と関わることで、これまで生徒が学習で身につけた知識や技術を活かし取り組むことで、成就感が増し学ぶ意欲が高まり、工夫する力が身についた。</p> <p>○地域の方々とふれあいや対応が、コミュニケーション能力向上につながった。</p> <p>○本校の学校理解が図られた。</p> <p>△中学校への学校活動の広報がさらに必要である。</p> <p>△事業実施に当たり、担当者が固定しないようにする必要がある。</p>	<p>○地域の期待を把握し、しっかりと応えることで、活力ある取組みができた。産業高校としての特徴が引き出され学校力の高まりに繋がった。</p> <p>△様々な取組みを検証し、さらに地域の方々に理解を得る必要がある。</p> <div data-bbox="1693 504 2045 770">  <p>最上大産業まつり</p> </div> <div data-bbox="1693 794 2045 1042">  </div>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
20 新庄神室産業 真室川校	<p>「地域を愛し、地域に生きる、地域に愛される」学校づくり]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全校ボランティア（地域の清掃活動）を実施。 2 婦人会の方の指導による真室川音頭の踊り研修会を実施。 3 「地域行事参加日」として真室川まつり「踊りパレード」に生徒・職員全員が参加（89名）。 4 1学年企業・学校見学（27名、3カ所）を実施。 5 高齢者宅除雪ボランティア（5カ所）を実施。 6 「2年生対象しごとセミナー」に参加（23名） 	<p>○地域の人々との交流を通して地域理解を深め、地域の一員であることを自覚し地域へ貢献しようとする態度が養われた。</p> <p>○コミュニケーション能力の向上が図られた。</p>  <p>真室川まつり参加</p>	<p>○地域の行事に参加することで地域の活性化が図られる。</p> <p>○地域のなかで存在感を示している。</p>  <p>除雪ボランティア</p>
東桜学館 中学校	<p>「マイコンパス」（キャリア教育）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「クエスト（中1：進路探究コース）」を導入し、先人の人生に触れ、人生観や職業観・勤労観を育む機会となった。また、全国大会出場を目指して切磋琢磨することで、高いレベルでのプレゼンテーション能力育成の機会となった。 2 「いのち」に関する講話を聴き、自他の存在のかけがえのなさについての意識を高めた。  <p>クエストカップ全国大会</p>	<p>○「クエスト」での人物探究により、「継続の重要性」や「偉人たちが最初から成功したわけではないこと」を知り、学びの基盤づくりに資するものとなった。</p> <p>○子ども達に「より良いものを創ろう」という意欲が見られた。</p> <p>○代表チームがクエストカップ全国大会に出場し、「人物ドキュメンタリー部門」でグランプリ（全国優勝）を受賞した。</p> <p>○「いのち」のかけがえのなさや生き方に触れる貴重な機会となった。</p> <p>○本格的に専門家から書道の指導を受ける貴重な機会となった。</p> <p>△予定指導時間の問題で、全学年体制では一部実施できなかった。</p>	<p>○「クエスト」は、子ども達が「実の場」を経験し、本気で学べる貴重な機会となっている。</p> <p>○さまざまな講演や経験を通して、自己形成期に「どういう自分であるか」という根源的な問いを発することで、子ども達自身の根っこを耕すキャリア教育プランとなっている。</p>